

*トヨタ看護専門学校 学校関係者評価（評価者1）

トヨタ看護専門学校が『看護師等養成所の教育評価等に関する自己評価指針』に基づき実施された自己点検・自己評価の結果を確認し、一部わかりづらい点に関しては直接、学校の担当者に質問し、その内容を評価した。全般としては、バランス良く教育がなされているが、下記の気になった点に関して、コメントを加える。

1. 学校の教育面では、教育理念・目的は記載されているが、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーが書かれていない。学校側に尋ねると、今年度中の完成をめざし、作成中とのことである。これらの3ポリシーができることにより、求められる学生像が明確になり、学校の特色ができるようになる。当院においても、学校の3つのポリシーを踏まえながら、臨地実習指導ができるように指導体制を整えていきたい。
2. 毎年の看護師国家試験の合格率は100%と高く、一つの成果はあげられているが、養成する看護師の質の保証に関しては明記されていないので、早急に考えられたい。もっとも現在おこなわれているディプロマポリシーの作成上で完成するものとする。
3. 教育課程では、学生に概要が配布されて、一つの教育進行が示されているが、実際の時間割では非常勤講師の時間調整が難航しているようである。これに関しては他教科との関連なども説明し、なるべく協力してもらえるようにされた方が良く、また出来る範囲で協力していきたい。臨地実習施設との関係では、学生が看護実技を学ぶ上で最重要であるので、どのような教育をしたいのか等を日ごろからの密な連絡と説明は欠かせないものとする。
4. 教育の評価は学生にとっても教員側にとっても重要であり（これを行うことにより授業や演習、実習の改善が可能である）、学校として（授業、演習、実習毎に）統一した形式の質問用紙であることが大切であると考えられる。これに関しては、3ポリシーの作成と共に十分に考える必要がある。
5. 学校の社会への情報提供は、現在では当然なされるべきものであり、この自己点検・自己評価を含めて、ホームページを活用して公表すべきである。これはまた、学校の広報となり、学生募集につながる。
6. いかなる看護師を育てたいか（育てたか）については、卒業生への継続的評価が必要になる。卒業生の進路を把握し、各病院での対象者の評価を知らせてもらうシステムの構築が必要でしょう。すべての就職先が難しい場合は、トヨタ記念病院での対象者の評価を継続的に聞き取ることをすべきである。可能であれば、点検評価票のようなものがあれば、現場としてもやりやすい。ほとんどの卒業生を受け入れる当院においても、クリニカルラダーの分析等を行い卒業後の育成の評価や成長度を可視化できると良いと考える。
7. 国際交流に関しては、何も学生を海外に送り出す必要はなく、外国人対象者（患者）への対応を病院実習等に加えることで可能となる。また、企業立の学校の強みを活かして、外国人労働者（研修生）との交流を行うことで、文化や生活様式の違いを体感で

きると良いと考える。そのためには語学や、生活習慣の違いなどを学習できる環境を加えることが必要でしょう。

8. 教員の研究に関しては、専門学校では難しいかもしれないが、教育や演習の工夫、また学生アンケートの結果などのテーマからコツコツと始められるのではないか。すくなくとも研究倫理は学生とともに学ぶ必要がある。

看護研究については、実習病院である当院看護室においても取り組みが少なく、問題解決技法によるカイゼン活動報告は多い。学校で研究倫理を学び、卒業後多くの臨床研究に取り組めるよう、学校、当院看護室共に看護研究への取り組みができると良いと考える。

*トヨタ看護専門学校 学校関係者評価（評価者2）

本校の卒業生として、トヨタ看護専門学校自己点検・自己評価を確認させていただきました。内容的には問題は無いと思います。但し、評価点数の低い項目に関しては、改善し、より良い教育で後輩を輩出して頂きたいと感じました。

建物は新しくなりましたが、ホームページにはもう少し在学生の動きや卒業生の活動を加えてくれた方が良いと思います。

先生方は研究時間は取れるのでしょうか、私の学生時代を振り返っても、授業や授業外での学生への対応、実習対応と相当に時間を割いていた記憶があります。